

(令和3年4月分)

種類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水産物全般	<p>4月は、緊急事態宣言により、飲食店の営業自粛などの影響で需要が減少したものの、取扱数量及び取扱金額が最も落ち込んだ前年同月と比較すると、総入荷量は6%上回り、総取扱金額は20%上回った。</p> <p>5月は、夏に産卵期を迎えるいさきに脂がのり始める時期であり、漁獲量が増え安定した入荷が見込まれる。</p> <p>今後、暑さが増し、梅雨のじめじめとどんよりした天候が続くため、冷たくさっぱり楽しめるカルパッチョやたたきを是非御賞味いただきたい。</p>
鮮魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で10%上回り、単価は飲食店などの業務需要が伸びたことから15%上回った。</p> <p>品目別には、すずき、さけの入荷量は前年同月を上回り、単価は上回った。さわら、まだい（天然）の入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
冷凍魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で17%上回り、輸入品の高騰などの影響を受け、単価は5%上回った。</p> <p>品目別には、冷さわら、冷えびの入荷量は前年同月を上回り、単価は前年同月並みとなった。冷さけの入荷量は前年同月を上回り、単価は前年同月を上回った。</p>
加工水産物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は14%上回った。</p> <p>品目別には、塩銀さけの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。開干あじの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。</p>

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮魚) ま　あ　じ	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で15%上回り、単価は11%下回った。
ま　い　わ　し	石川、鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で11%上回り、単価は13%下回った。
さ　　ば	三重で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で15%下回り、単価は5%上回った。
す　る　め　い　か	長崎、富山で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で68%下回り、単価は5%上回った。
太　　物	総入荷量は前年同月比で25%上回ったが、飲食店などの需要が伸びたことから、単価は4%上回った。
び　ん　ち　よ　う	鹿児島、宮崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で31%上回り、単価は15%下回った。
あ　ま　だ　い	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で43%上回ったが、飲食店などの需要が伸びたことから、単価は7%上回った。

※ 太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚) 冷 さ ば	入荷量は前年同月比で5%上回ったが、大型物が値上がりしたことから、単価は9%上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月比で106%上回り、単価は13%下回った。
(加工水産物) 塩 さ ば	入荷量は前年同月比で11%上回り、単価は前年同月並みとなった。
ち り め ん	入荷量は前年同月比で49%上回り、品質の良いものの入荷が増加したことから、単価は28%上回った。